

# 令和6年度 学習の指針(シラバス) 野田市立第一中学校

◎学年( 1 )学年 ◎教科( 英語 )

使用教科書	東京書籍 NEW HORIZON ENGLISH COURSE 1			
学習目標	1 はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。 2 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。 3 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。 4 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて話すことができる。 5 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。			
学習計画	前期	4月 小学校で習った表現、英和辞書の使い方 5月 be 動詞、一般動詞、can、This [That, He, She] is …、疑問詞 what や who、how 6月 疑問詞 where や when、I want to … 7月 How many …?、複数形、命令文、〈What＋名詞 …?〉 9月 前置詞、like [enjoy] …ing、be good at …ing		
	後期	10月 動詞の過去形、三人称現在単数形 11月 代名詞や疑問詞 which、whose、許可を求めたり、依頼したりする表現 12月 現在進行形、感嘆文、体調についてやり取りする表現 1月 不定詞、look＋形容詞、道案内の表現(徒歩) 2月 一般動詞の過去形、be 動詞の過去形、There is [are] … 3月 過去進行形、レストランで注文するときの表現、1年生の総復習		
主な活動形態や使用教材など	【主な活動形態】個人活動、ペアワーク、グループワーク ＊ねらい、内容に応じて適切な形態をとり、活動します。 【主な使用教材】デジタル機器(デジタル教科書、eラーニング教材等)、ワーク、ノートなど ＊ねらい、内容に応じて効果的な活用方法を選択していきます。			
評価の観点別内容や評価の方法	観点	評価の内容		評価の方法
	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能が身についているか。		・定期テスト ・単語テスト ・授業観察 ・プリント 等
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができるか。		・定期テスト ・コミュニケーション活動 ・パフォーマンステスト ・授業観察 等
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。		・パフォーマンステスト ・コミュニケーション活動 ・振り返りシート ・定期テストの再テスト ・提出物 ・授業観察 等	
学習についてのアドバイス	【授業では】 ・授業では、間違いを恐れず積極的に英語を使いましょう。 ・ペアワークやグループワークでは、仲間と協力して、意欲的に取り組みましょう。 ・「聞く」「読む」「話す」「書く」の4つの技能をバランスよく習得するために、一つひとつの活動において、特にどの技能に重点を置いているかを意識しましょう。 ・わからないことがあったら、その日のうちに先生や友達に聞いて解決しておきましょう。 【家庭では】 ・学習した内容は、その日のうちに復習しておきましょう。 ・単語や本文を何度も読んだり、ノートに繰り返し書いたりすることで、書く力を身につけていきましょう。発音しながら書くのが効果的です。毎日短時間でも、続けることです。 ・英語は「積み重ねの教科」と言われています。ある単元が理解できないとその上に積み上がる単元も必然的にわからなくなってしまう。英語が苦手だと感じている人は、過去の単元にさかのぼって復習しましょう。 ・学習者用デジタル教科書や教科書のQRコード等は家庭でも活用できるので、ぜひ取り組んでください。			